

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	南消防署消防活動事業			会計	款	項	目	大	小
政 策	02	2 節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	南消防署				
施 策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	片瀬 章博				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	防火対象物、市内の在住者、在勤者等	意図	火災、災害に強いまちづくり。市民に火災、災害に備えた防災意識を身につける。
事業内容	火災、災害等の発生時に、災害を最小限にとどめる。市民に対し消防訓練の実施。防火対象物（建物等）の立入検査を実施。			
事業開始から現在までの状況変化	平成21年度より南消防署となり、つくばエクスプレスの開通に伴い、管轄地域のビル、住宅及び交通量の急増により、各種災害の多様化や救急需要の増加などが予想される。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	火災出動件数	4	12	5	件	↓↓↓
②	消防災害件数	68	77	73	件	↓↓↓	
③	防火対象物の立入検査	155	119	117	回	↑↑↑	
④	消防訓練	39	29	44	回	↑↑↑	
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	自治会の消防訓練等で住宅用火災警報器の設置推進により、住宅火災は抑制傾向にあるが、災害の複雑・多様化が懸念される。
事務事業の総コスト(a=b+c)	89,485,287	47,326,636	86,090,667	
事業費(b)(円)	240,287	342,636	394,667	
うち一般財源	240,287	342,636	394,667	
職員給与費(c)(円)	89,245,000	46,984,000	85,696,000	
人役・職員(人)	13.00	7.00	13.00	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	火災や各種災害に対応するために必要な資機材の整備と各種訓練を行うとともに、市民及び管内の事業所に火災予防の徹底を図る。	③取組における課題(Check)	多様化する災害への対応力が求められるとともに、市民及び管内の事業所へ防火・防災意識の高揚を継続させること。
②H30に実施した取組(Do)	市民に防火・防火思想の普及啓発を図るため、防火講座などを開催するとともに、防火対象物からの出火防止を図るため立入検査を実施する。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	各種の災害への対応力の強化と住宅用火災警報器の設置推進を継続し、管内の防火対象物の立入検査を実施し指導を徹底する。